

事務事業実績測定調書

R5調書番号 2

事務事業名称	スポーツ少年団活動支援事業									
測定年度	2023 (R5) 年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1963 (S38) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市補助金等交付規則、決裁				
関係補助金名称	スポーツ少年団活動補助金		サンセット	2023 (R5) 年度	～ 2025 (R7) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市スポーツ少年団の各団体に所属する児童			
	サブターゲット	枚方市スポーツ少年団の各団体の指導者			
	ターゲットが抱える課題	子どもたちが日常的にスポーツに接する機会が不足する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	スポーツ少年団の活動が活発になることにより、子どもがスポーツを楽しめる環境がより充実した状態。				
事業概要	少年にスポーツに接する機会を与え、より多くのスポーツを通じ身体的・精神的両面の健全育成に寄与することを目的として、スポーツ少年団活動がより活発となるよう支援を行う。少年団は、市内の3歳以上の団員10人以上と満20歳以上の指導者により構成される。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		目標をもって継続的により多くの団員がスポーツを楽しむことができる。				支援を受けてスポーツ少年団の活動が活発となり、大会・イベントが開催される。				事業を行うスポーツ少年団に対して補助金を交付する。			
指標設定	指標説明	スポーツ少年団の登録団員数				大会・イベントの回数				補助金が交付されるスポーツ少年団を構成する種目数			
		単位 人				単位 回				単位 種目			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	1,061	1,061	1,061	1,061	11	11	11	11	6	6	6	6
	実績	868	819	857	824	3	4	9	9	6	5	5	5
	達成度	78%				82%				83%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.14
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,964	1,094	1,105		
	会計年度任用職員	183	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,147	1,094	1,105		
歳入	物件費計	37	148	117	250	46.8%
	歳出計	2,184	1,242	1,222		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		37	148	117	250	

5. 総括的分析

総括的分析	大会・イベントの回数は、令和2～3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいたが、令和5年度は前年度同様、目標値に近い回数まで戻ってきた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	子どもがスポーツを楽しめる環境のより一層の充実に向けて、引き続きスポーツ少年団活動が活発となるよう支援を行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 3

事務事業名称	枚方市スポーツ協会加盟団体活動補助事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁				
関係補助金名称	体育団体活動補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会の各加盟団体に所属する人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	大会の開催や市民を対象とした講習会・体験イベントなどスポーツに親しむことができる環境が求められている。また、競技普及の機会が不足している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	団体独自の大会が多く開催されることで、競技者が目標を持って競技に取り組むことができ、競技力が向上していく状態。また、講習会・イベントを実施することで団体登録者や大会参加者増加につながり、各団体の活動が活発になることで市民にとっても年齢や興味または関心に応じた種目を選択し、生涯にわたってスポーツに親しむ環境が充実している状態。				
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会に加盟する各団体の活動に対して、毎年補助金の支出を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）				
		競技者が目標を持って競技に取り組め、競技力が向上する。				団体主催の大会・スポーツ教室を開催するなど、活動が活性化する。				事業を行う加盟団体に補助金を交付し、活動を支援する。				
指標設定	指標説明	加盟団体が主催・共催する大会等の参加人数				加盟団体主催・共催の大会等実施回数				補助金交付団体数				
	単位		人		単位		回		単位		団体			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 （見込み）	-	19,800	21,780	23,958	-	70	77	85	27	27	27	27
		実績	-	15,721	23,878	27,389	-	50	89	106	27	27	27	27
達成度		114%				125%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.09
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	786	703	711		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	786	703	711		
歳入	物件費計	555	593	642	675	95.1%
	歳出計	1,341	1,296	1,353		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	一般財源（物件費に充当されるもの）	555	593	642	675	

5. 総括的分析

総括的分析	各団体の活動が全体的に活発になり、大会数が増加した。それに伴って、大会参加者も増加し、いずれも目標値を上回る結果となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	各団体の活動が活発化し、市民が生涯にわたってスポーツに親しむ環境が充実している状態を目指して、引き続き加盟団体に対する支援を行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 20

事務事業名称	市民スポーツ応援サポート事業補助事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	不明		年度	～	年度まで	
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁					
関係補助金名称	市民スポーツ応援サポート事業補助金		サンセット	2023(R5)年度	～	2025(R7)年度
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会				
	サブターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者				
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方市スポーツ協会が各種事業を実施することにより、「見る」「する」「支える」の各分野で市民のスポーツ参加機会の拡充、多様なスポーツニーズへの対応等が十分に行われている状態。					
事業概要	◎スポーツ応援事業 枚方市が世界大会や全国大会出場する選手や団体の応援を行う際や、優勝セレモニーや報告会等を実施する際にサポートを行うとともに、枚方市が連携するスポーツ団体の市民応援事業の募集や受付を実施するなど、市民へ広く情報提供を行う。また、優秀選手や団体の情報収集やセレモニー実施に向けての連絡調整を行う。 ◎スポーツ情報提供事業 ホームページやSNSにおいて情報発信するために、情報内容や企画、広報、情報提供を行い、継続的にスポーツの普及・啓発を推進する。また、スポーツ図書やスポーツビデオ・DVDの貸出を無料で行う。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		多様なスポーツニーズへの対応により、スポーツ参加機会が拡充されている。				スポーツ協会が各事業を十分な規模、内容で実施するなど、活動が活性化する。				事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。				
指標設定	指標説明	市の広報またはSNSに掲載された市長表敬及び全国大会応援事業関連記事の数				市長表敬調整及びスポーツ応援事業の実施回数				補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【算出式:決算額/当初予算額×100】				
	単位		回		単位		回		単位		%			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	20	20	20	20	20	20	20	20	100	100	100	100
		実績	5	14	34	37	5	14	34	37	97	98	100	98
達成度		185%				185%				98%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.19
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	786	1,484	1,500		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	786	1,484	1,500		
歳入	物件費計	2,851	3,311	3,296	3,346	98.5%
	歳出計	3,637	4,795	4,796		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		2,851	3,311	3,296	3,346	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルスの影響で休止されていた大会が再開したこともあり、全国大会や世界大会への出場者が増加したことに伴い、市長表敬の実施回数も増加した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、全国大会や世界大会に出場する市民に関する情報収集及び発信を行い、市民のスポーツへの関心を高めていくため、補助金を交付していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 29

事務事業名称	地域・競技スポーツコンサルティング事業補助事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁				
関係補助金名称	地域・競技スポーツコンサルティング事業補助金	サンセット	2023(R5)年度	～	2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会			
	サブターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者			
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方市スポーツ協会が各種事業を実施することにより、「見る」「する」「支える」の各分野で市民のスポーツ参加機会の拡充、多様なスポーツニーズへの対応等が十分に行われている状態。				
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。 ◎地域スポーツ・競技スポーツコンサルティング事業 地域(PTA等)や障害者団体のスポーツイベント開催に際し、専門的な知識を活かして企画・運営のコーディネートを行うとともに、ノウハウを持ったスタッフをスポーツボランティアとして派遣するなど、地域スポーツを総合的にコンサルティングする。 また、市等が行う健康増進イベントへも企画提案や支援を行うほか、ニュースポーツの普及や指導者育成に関する助言も行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		多様なスポーツニーズへの対応により、スポーツ参加機会が拡充されている。	スポーツ協会がスポーツ機会の提供を行い、市民の健康づくりを支援する。	事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。
指標設定	指標説明	令和元年度を基準とした参加者の増減率 【算出式:(当該年度におけるイベント参加者数-令和元年度におけるイベント参加者数1721人)/令和元年度におけるイベント参加者数×100】	誰もが障害者とともに参加できるスポーツイベントの参加者数	地域スポーツへのコーディネート、コンサルティング実施回数
		単位 %	単位 人	単位 回
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	1 2 3 4	2,150 2,170 2,190 2,210	9 9 10 11
		実績		
		0 10 ▲ 9.40 1	0 1,905 1,559 1,726	7 9 17 8
達成度		25%	78%	73%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.09
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	786	703	711		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	786	703	711		
	物件費計	2,810	2,868	2,893	2,912	99.3%
歳出計		3,596	3,571	3,604		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		2,810	2,868	2,893	2,912	

5. 総括的分析

総括的分析	地域団体等とのスポーツイベントの企画・調整においては、令和4年度より多くの新規相談を受けており、地域でのスポーツ活動の活性化につながっている。障害者スポーツの支援では、令和5年度は全てのイベントを予定通り実施できたため、天候不良により一部のイベントが中止となった令和4年度と比べて、参加人数が増加となった。令和5年度より「健康スポーツ事業普及事業」から「地域・協議スポーツコンサルティング事業」に移行した健康経営のコンサルティングについては、従業員の健康増進を経営課題捉える企業が増加していることを背景に、前年度から相談企業数が増加している。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	団体・地域ごとの多様なニーズに対応したイベント開催及びコンサルティングにより、市民のライフステージに応じたスポーツ機会を提供するため、引き続き補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 30

事務事業名称	スポーツサポーターズバンク事業補助事業									
測定年度	2023 (R5) 年度		部	観光にぎわい部		課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁				
関係補助金名称	スポーツサポーターズバンク事業補助金		サンセット	2021 (R3) 年度	～ 2023 (R5) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会			
	サブターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者			
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	公益財団法人枚方市スポーツ協会が各種事業を実施することにより、市民の中から発掘・育成された指導者や支援者が様々な活動に派遣されて活躍することで、指導者・支援者の活躍する場が広がり、指導・支援を受けることにより市民のスポーツに触れる機会が増えている状態。				
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。 スポーツサポーターズバンク事業として、指導者や支援者の育成に係る講習会を実施。育成した指導者や支援者に定期的に指導方法のフォローアップ研修を行い指導者や支援者の資質向上に努める。 また、市民のニーズに合わせ指導者を派遣するとともに、中学校部活動などへ指導者の派遣や支援を行い、主にスポーツリーダー（支援者）育成やスポーツインストラクター（指導者）育成、スポーツ指導者・支援者フォローアップ、スポーツ指導者派遣事業などを行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		発掘・育成された指導者や支援者が様々な活動に派遣され、活躍する。				スポーツ協会が各事業を十分な規模、内容で実施し、指導者や支援者を発掘・育成する。				事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。				
指標設定	指標説明	発掘・育成された指導者や支援者の派遣回数				講習会等の参加者数				補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額/当初予算額×100】				
	単位		回		単位		回		単位		%			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	1	66	69	72	60	117	122	128	100	100	100	100
		実績	31	30	56	70	36	180	96	93	94	97	99	100
達成度		97%				73%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.09
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	786	703	711		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	786	703	711		
	物件費計	5,306	5,735	5,835	5,835	100.0%
歳出計		6,092	6,438	6,546		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		5,306	5,735	5,835	5,835	

5. 総括的分析

総括的分析	指導者・支援者の派遣回数、目標値には届かなかったものの、オンラインも活用しながら前年度よりも多く実施できた。また、学校部活動との連携を見据えて、広報ひらかたを活用して市民指導者の募集を行ったところ、部活動等で指導できる指導者が増加しており、地域でのスポーツに関する人材育成につながっている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	学校部活動との連携も踏まえ、地域の人材育成を行うことで、市民のスポーツ活動の振興を図るため、引き続き補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 40

事務事業名称	健康スポーツ普及事業補助事業									
測定年度	2023 (R5) 年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁				
関係補助金名称	健康スポーツ普及事業補助金		サンセット	2021 (R3) 年度	～ 2023 (R5) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会			
	サブターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者			
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	枚方市スポーツ協会が各種事業を実施することにより、「見る」「する」「支える」の各分野で市民のスポーツ参加機会の拡充、多様なスポーツニーズへの対応等が十分に行われている状態。				
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。 健康スポーツ普及事業として、健康増進や高齢者の介護予防の取り組みとして、地域展開における楽10体操やボディバランスチェック体験、朝活ストレッチ教室などの事業を実施。加盟団体による競技スポーツの普及振興を図るため、スポーツ教室を実施するとともに、専門委員会を組織し、スポーツ教室事業の内容等を検討し、ニーズに即した展開を実施していく。 また、枚方市内の企業への健康経営の取り組みとしてオーダーメイドプログラム(健康パッケージ)の提供を行っていくことで、枚方市の健康増進を進める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		各々のニーズに応じた事業に参加し、健康増進や高齢者介護予防のきっかけとする。				スポーツ協会が各事業を十分な規模、内容で実施し、スポーツ体験を通じた啓発、知識の普及等を行う。				事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。				
指標設定	指標説明	令和元年度を基準とした参加者数増減率 【算出式:(当該年度における各事業参加者数-令和元年度における各事業参加者数(5382人))/令和元年度における各事業参加者数×100】				各事業参加者数				補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額/当初予算額×100】				
		単位	%											単位
		指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	1	2	3	4	6,835	6,835	6,869	6,903	100	100	100	100
		実績	▲ 57.80	9.98	69.08	73	2,271	5,919	9,100	9,339	98	99	97	100
	達成度		1825%				135%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.09
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	786	703	711		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	786	703	711		
	物件費計	12,885	12,390	12,798	12,798	100.0%
歳出計		13,671	13,093	13,509		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		12,885	12,390	12,798	12,798	

5. 総括的分析

総括的分析	プログラムの提供に加えて、健康経営への関心が高まっている企業への、職種や年代に応じたオーダーメイドプログラムの実施や相談が増えていることから、全体的な参加者数も増加している。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	高齢者向けのプログラムや、企業向けの健康経営プログラムなどの提供により市民のスポーツ振興を図るため、引き続き補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 48

事務事業名称	市民オリンピック事業補助事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁				
関係補助金名称	市民オリンピック事業補助金		サンセット	2021(R3)年度	～ 2023(R5)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会			
	サブターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者			
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方市スポーツ協会が市民オリンピックを実施することで、参加者がイベントをきっかけに、オリンピック等大規模な大会終了後も継続して様々なスポーツ活動に取り組む状態。				
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。 市民オリンピック事業として、東京2020オリンピック・パラリンピックの啓発事業である「ひらかた市民オリンピック」を開催。現在は小学生を中心に大人の方も参加する運動会形式で実施しており、東京2020オリンピック終了後も、スポーツ熱を継続していけるように、より多くの市民の皆さんが参加できるイベントを企画し、事業を継続していく。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		イベントを実施することで、様々なスポーツ活動に継続的に取り組むきっかけとする。				スポーツ協会により十分な規模・内容のイベントが実施され、多くの世代が参加する。				事業を行うスポーツ協会に補助金を交付し、活動を補助する。				
指標設定	指標説明	令和元年度を基準としたイベント参加者数増減率 【算出式:(当該年度における参加者数-令和元年度における参加者数(167人))/令和元年度における参加者数×100】				イベント参加者数				補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額/当初予算額×100】				
	単位		%		単位		人		単位		%			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	0	2	3	4	240	184	193	202	100	100	100	100
		実績	0	0	72.45	84	0	0	288	308	88	0	81.22	98
達成度		2100%				152%				98%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.09
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	703	711		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	703	711		
	物件費計	0	1,311	1,581	1,619	97.7%
歳出計		0	2,014	2,292		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	1,311	1,581	1,619	

5. 総括的分析

総括的分析	スポーツ協会の各加盟団体や市内スポーツ少年団との連携により、様々なスポーツを体験できる教室型イベントを実施した。各教室やスポーツ少年団の活動を紹介したチラシの配布、当日教わった指導者や既に各団体等に所属する子どもたちとのふれあいを通じて、参加者が興味を持った競技を継続的に取り組めるように促し、スポーツ習慣の定着化を図った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市民が気軽にスポーツを体験できる機会を提供するため、引き続き補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 51

事務事業名称	新春走ろうかい事業補助事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁				
関係補助金名称	新春走ろうかい事業補助金		サンセット	2021(R3)年度	～ 2023(R5)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会			
	サブターゲット	公益財団法人枚方市スポーツ協会各事業への参加者			
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方市スポーツ協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方市スポーツ協会が年代や距離に応じて気軽に参加できる新春走ろうかいを実施することで、大会参加者が健康増進や体力づくりにつなげている状態。				
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。 新春走ろうかい事業として、昭和52年から毎年成人の日に開催。淀川河川敷において気軽に走れる2kmのジョギングの部から本格的なハーフマラソンまで26種別あり、年代や距離に応じて誰もが気軽に参加できるマラソン事業で、毎年全国各地から約4,000人のランナーが参加している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		年代や距離に応じて誰もが気軽に 参加でき、健康増進のきっかけに なる。				スポーツ協会により十分な規模・内 容のイベントが実施され、多くの世 代が参加する。				事業を行うスポーツ協会に補助金 を交付し、活動を補助する。				
指標設定	指標説明	令和元年度を基準とした参加者数 増減率 【算出式:(当該年度におけるイベ ント参加者数-令和元年度におけ るイベント参加者数(4790人))/令 和元年度におけるイベント参加者 数×100】				イベント参加者数				補助金に係る当初予算額に対す る決算額の割合【算出式:決算額/ 当初予算額×100】				
		単位		%										単位
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	0	2	3	4	4,000	4,423	4,445	4,467	100	100	100	100
		実績	▲ 84.24	▲ 52.42	▲ 44	▲ 43	755	2,279	2,659	2,741	92	100	96.11	98
達成度		-1075%				61%				98%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.09
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	786	703	711		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	786	703	711		
歳入	物件費計	8,877	8,326	8,565	8,739	98.0%
	歳出計	9,663	9,029	9,276		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		8,877	8,326	8,565	8,739	

5. 総括的分析

総括的分析	ウェーブスタート制やオンラインとの併用での実施を行った。参加者が少ない20代・30代に向けて、SNS等で人気があるランチューバーの招聘などを行い、前年度より参加者数が増加となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市民が気軽に参加できる新年の恒例イベントとして定着してきており、市民の健康増進を図るため引き続き補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 148

事務事業名称	各種スポーツ大会等開催事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択の事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	各種大会、イベントに参加する各種スポーツ競技者及び競技者となる可能性がある人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	競技者にとって活動の目標が少なくなる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各大会に参加する市民の健康維持、体力増進を図られ、スポーツ活動が活発になった状態。				
事業概要	市民のスポーツ振興を図るため、各種スポーツ大会やレクリエーション事業等を実施し、市民の健康維持・体力増進とスポーツ活動をより活発にすることを目的として、下記事業を実施する。 ①各種競技大会(総合体育大会等)の運営を公益財団法人枚方体育協会に委託し、実施。 ②市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。 ③ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方体育協会に委託して実施。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
		各種スポーツ競技者等の市民は、大会・イベントを目標として継続的に活動しやすくなる。				各種スポーツ競技者等の市民は、大会やイベントに参加する。				各種スポーツ大会、イベントを開催する。								
指標設定	指標説明		令和元年度を基準とした参加者数増減率				各種大会参加者数				実施回数							
			単位		%				単位		人				単位		回	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5				
		目標 (見込み)	0	▲ 2.5	▲ 5	▲ 7.50	22,000	21,500	21,000	20,500	10	10	10	10				
		実績	▲ 74	▲ 51	▲ 32.52	▲ 16	5,800	11,118	15,291	19,049	3	4	12	12				
	達成度		213%				93%				120%							

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.49
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

4. 決算額			(千円)				
			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,929	3,515	3,869		
		会計年度任用職員	92	0	0		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	4,021	3,515	3,869		
	物件費計		28,616	37,568	36,723	36,734	100.0%
歳出計		32,637	41,083	40,592			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		1,112	2,390	2,851	1,110	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		1,112	2,390	2,851	1,110	
一般財源（物件費に充当されるもの）			27,504	35,178	33,872	35,624	

5. 総括的分析

総括的分析	各種競技大会(総合体育大会)等においては、全ての大会を実施できており、参加者数も増加となった。ラグビーカーニバルについては、R4年度より減少しており、プログラム内容について見直しを行うなど集客につなげていく必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市民のスポーツ振興につながるよう、引き続き、各種スポーツ大会やレクリエーション事業を実施する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 149

事務事業名称	市民スポーツカーニバル開催事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業		区分	一般事務事業	
事業期間	1983(S58)年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	スポーツ基本法、決裁						
関係補助金名称					サンセット	～	
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	体力向上や健康増進に興味がある人、普段特定の施設しか利用しない人					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	体力向上や健康増進の方法に触れる機会が不足する。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	イベントをきっかけとして、参加者の意識が改善し、体力向上や健康増進の取り組みを実施、継続している状態。						
事業概要	毎年体育の日に、市民の体力向上及び健康増進を図り、生涯スポーツの普及・振興及び市民相互の交流と親睦を促進するため気軽に参加できるスポーツイベントを開催することを目的に、各体育施設の指定管理者、体育協会、スポーツ推進委員協議会等様々な団体の協力を得て、総合スポーツセンター、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンターで市民の体力向上と健康増進をはかるため、多彩なメニューを工夫して、多くの市民参加のもと事業を実施する。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		参加がきっかけとなり、健康維持、体力増進の取り組みが継続的に実施される。				体力向上や健康増進に興味がある市民が、スポーツカーニバルに参加する。				体育の日に指定管理者や各団体と連携して市民スポーツカーニバルを開催する。				
指標設定	指標説明	事前申し込み制のイベント参加者の満足度 【算出式:アンケートで「満足」または「やや満足」と回答する方/アンケート回答者全体の割合×100】				事前申し込みイベント参加者数				事前申し込みイベント数				
		単位		%		単位		人		単位		事業		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	70	70	75	80	105	105	110	115	3	3	3	3
		実績	0	0	100	71	0	0	99	483	0	0	10	18
	達成度	89%				420%				600%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	1,424	0		
	会計年度任用職員	0	52	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	1,476	0		
	物件費計	0	0	0	3	0.0%
歳出計		0	1,476	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	3	

5. 総括的分析

総括的分析	・令和4年度は市と指定管理者が連携して事業を実施していたが、令和5年度より指定管理者のみで事業を実施した。その結果、渚市民体育館ではスカイアリーナでアーチェリー体験を開催するなど施設の特徴を活かし、施設の認知度および利用率の向上を図った。また、施設の一部を無料で開放することで、施設を使用したことのない市民に気軽に使用してもらえる良い機会となった。 ・当初の見込みより多くの参加があり、会場内で待ち時間が発生し、満足度が目標値に到達しなかった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取り組み方針	令和6年度より「市民オリンピック事業補助事業」に統合するため、「市民スポーツカーニバル開催事業」を廃止とする。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 150

事務事業名称	スポーツ推進事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性		選択の事業		区分	一般事務事業	
事業期間	2016(H28)年度			年度	～				年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市スポーツ推進審議会条例								
関係補助金名称					サンセット			～	
関係附属機関名称									
事業対象	メインターゲット	ライフステージに応じて、様々なスポーツに取り組む人							
	サブターゲット	ライフステージに応じて、これから様々なスポーツに取り組もうとする人							
	ターゲットが抱える課題	生涯にわたって多種多様なスポーツを楽しめる環境づくりが求められている。							
	ターゲットが抱える課題								
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	誰もが生涯にわたってスポーツに親しめる環境がある状態。								
事業概要	だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支えることを目的に、スポーツ基本法第10条に基づき、本市の実情に即したスポーツの推進に関する計画を策定し、体力づくりや健康増進とあわせて介護予防などに効果的なスポーツ振興に関する事業を総合的・計画的に推進する。 また、条例の規定に基づき、教育委員会の附属機関として枚方市スポーツ推進審議会を設置し、教育委員会の諮問に応じてスポーツ推進計画に関する答申を行うとともに、スポーツ推進計画の推進に関する事項やスポーツの推進に関する重要事項を調査審議する。 平成28年度に策定した枚方市スポーツ推進計画の計画期間(平成29年度から平成39年度)の中間年度となる令和4年度に、これまでのスポーツ推進の取組を評価・見直し、今後の取組方向の確認を目的に現行計画の中間見直しを行う。 中間見直しを行うことで、国や県、その他関連計画との整合を図りながらスポーツを取り巻く環境に対応した計画を推進する。								

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりにつながる。				計画や審議会の意見に基づき、スポーツ振興に関する事業を実施する。				審議会で各部署での取組を点検・評価する。			
指標設定	指標説明	答申に対して拡充や見直し等が図られた事業の割合 【算出式: 拡充等が図れた事業/答申を受けた事業数×100】				規模や手法の見直しや、新たな施策展開の答申を受けた事業数				進捗管理を行うのべ施策数			
		単位				単位				単位			
		%				事業				事業			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	90	90	90	90	10	10	11	12	219	219	219	219
	実績	0	0	0	0	0	0	0	0	219	219	219	219
	達成度	0%				0%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	12.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,663	7,812	9,474		
	会計年度任用職員	183	78	66		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	105	0	418		
	人件費計	3,951	7,890	9,958		
	物件費計	0	3,080	41	10	410.0%
	歳出計	3,951	10,970	9,999		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	3,080	41	10	

5. 総括的分析

総括的分析	スポーツを取り巻く状況や、国、府の動向、令和4年度に実施した枚方市スポーツ推進計画の中間評価を踏まえ、令和6年度以降の本市のスポーツ施策を総合的に推進するための指針として、枚方市スポーツ推進計画改訂版を策定した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和5年度に策定した枚方市スポーツ推進計画改訂版を踏まえ、スポーツ振興に関する事業を推進する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 491

事務事業名称	サプリ村野スポーツセンター維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2013 (H25) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市立サブリ村野スポーツセンター条例、枚方市立サブリ村野スポーツセンター条例施行規則、枚方市立サブリ村野スポーツセンター使用料に関する規則				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	サブリ村野スポーツセンターの利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	サブリ村野スポーツセンターの利用者が安全に利用できるよう環境整備されることが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	サブリ村野スポーツセンターの維持管理し、この環境整備を通じてスポーツ振興を図ることを目的として、旧村野小学校跡を整備しリニューアルオープンしたサブリ村野スポーツセンター（運動広場、体育館、多目的体育室1～4）の管理運営を行い、生涯スポーツの活動の機会と場を提供することで、市民の健康の増進と体力の向上を図る。施設使用にかかる窓口業務等については、サブリ村野NPOセンターとあわせて、特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センターへ委託し、実施している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						サプリ村野スポーツセンターが適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	指標説明					施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
						単位	件			単位	件		
	指標種類					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					0	0	0	0	9	9	9	9
	実績					0	0	0	0	9	9	10	9
達成度						100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.26
再任用	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.04
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,968	3,403	3,564		
	会計年度任用職員	19	104	88		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,987	3,507	3,652		
歳入	物件費計	10,947	14,030	11,613	13,868	83.7%
	歳出計	15,934	17,537	15,265		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	4,108	5,032	5,056	4,866	
	市債	0	0	0	0	
	その他	497	2	4	1	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	4,605	5,034	5,060	4,867	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		6,342	8,996	6,553	9,001	

5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件だった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	保全計画に基づき、引き続き適切に施設の維持管理を行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 493

事務事業名称	スポーツ振興課所管体育施設維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、淀川河川敷グラウンドの貸出しに関する要綱、決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	淀川河川敷グラウンドの利用者			
	サブターゲット	ゲートボール場の利用者			
	ターゲットが抱える課題	日常的にスポーツを楽しめる場が不足している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	日常的にスポーツを行える施設を維持し、この環境整備を通じてスポーツの振興を図るため、淀川河川敷グラウンド(磯島・牧野)、ゲートボール場の維持管理を実施する。淀川河川敷グラウンドは、国の許可を得て、市民団体に貸し出しており、ゲートボール場は、施設ごとに使用者(地域団体)と協定を締結し、日常的な維持管理は使用者が行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）					
						淀川河川敷グラウンドやゲートボール場が適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。					
指標設定	指標説明					施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数					
	単位		件		単位		件								
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
	指標数値	目標 （見込み）						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績						0	0	0	0	7	7	7	7
達成度						100%				100%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.35
再任用	0.01
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.04
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,131	2,986	2,814		
	会計年度任用職員	19	104	88		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,150	3,090	2,902		
歳入	物件費計	5,436	5,856	11,423	16,742	68.2%
	歳出計	8,586	8,946	14,325		
	国庫支出金	404	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	404	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		5,032	5,856	11,423	16,742	

5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件だった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き効果的・効率的な事業実施ができるよう、適切に施設の維持管理を行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 494

事務事業名称	トップアスリートとのふれあい事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	これからスポーツに興味を持つまたは現在継続的にスポーツを実施している子ども。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市内でトップアスリートとふれあい、プレーを間近に見る機会が限られている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	子どもたちがトップアスリートとふれあったり、トップレベルのプレーを間近に見る機会を多く持つことにより、スポーツへの関心を高め、スポーツを通じて夢を持った状態。				
事業概要	青少年の健全な育成、子どもたちにスポーツに対する関心を高めるとともに、子どもたちの夢を育むため、トップアスリートとのふれあい事業を実施する。他に市民スポーツ賞等の表彰等を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		子どもたちのスポーツに対する関心が高まるとともに、子どもたちの夢が育まれる。				子どもたちが、トップアスリートとのふれあいや、トップレベルのプレーを間近に見ることができる。				トップアスリートを招聘して子どもたちと触れ合う機会を作る。			
指標設定	指標説明	参加者満足度(アンケート調査)				参加人数				実施回数			
		単位 %				単位 人				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	0	80	80	80	0	141	148	155	0	2	2	2
	実績	0	0	94.77	95	0	0	384	2,849	0	0	3	4
達成度		119%				1838%				200%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.65
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	4,140	5,132		
	会計年度任用職員	0	26	110		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	4,166	5,242		
歳入	物件費計	0	3,535	7,043	7,164	98.3%
	歳出計	0	7,701	12,285		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	330	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	330	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	3,205	7,043	7,164	

5. 総括的分析

総括的分析	ラグビーや3×3のバスケットボール、サインバスケットボールなどのイベントや、ハンドボール、スケートボードなど様々な種目の体験ができ、複数のトップアスリートとふれあえるイベントなどを実施することで、目標よりも高い満足度を得ることができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	子どもたちのスポーツへの関心を高めていくため、引き続き子どもたちがトップアスリートとふれあったり、トップレベルのプレーを間近に見る機会を多く持てるよう、実施内容を検討していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 495

事務事業名称	スポーツ推進委員関係事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	1962(S37)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市スポーツ推進委員に関する規則、決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	各地域等を代表するスポーツ推進委員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	スポーツ推進委員による地域におけるスポーツ活動の活性化			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	スポーツ推進委員が実施するスポーツイベント、情報提供、アドバイスにより地域住民がスポーツに親しみやすくなる。				
事業概要	市内45小学校区にスポーツ推進委員を委嘱し、社会体育の普及・振興を図り、地域社会の充実と発展を期することを目的として、スポーツ基本法に基づき委嘱されたスポーツ推進委員が地域住民のスポーツに関して指導助言を行い、生涯スポーツの普及振興を図っていく。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.37
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	47.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,964	2,890	2,921		
	会計年度任用職員	0	78	66		
	特別職非常勤	5,216	5,282	5,244		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,180	8,250	8,231		
歳入	物件費計	15	15	25	15	166.7%
	歳出計	7,195	8,265	8,256		
	国庫支出金	0	0	0	0	
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		15	15	25	15	

5. 総括的分析

総括的分析	地域によってはコロナ過で中止になったイベントがそのまま開催されていない所もある中、協議会としては、昨年に引き続き、11月に「親子ウォーキングイベント」、3月に「親子グラウンド・ゴルフ大会」の2つの主催イベントを開催するなど、コロナ過前の活動水準に戻って来ている。主催イベント開催後、今後も継続していくプログラムと新規に取り組むべきプログラムの検討を行い、令和6年度に向け調整を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	・協議会全体での活動に加え、各委員の所屬地域でのスポーツ推進活動の拡充を目指す。 ・本市のスポーツ振興の中心的役割を担っている「公益財団法人枚方市スポーツ協会」との協力関係を今まで以上に強め、本市全体の更なるスポーツ振興と生涯スポーツの促進を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 496

事務事業名称	伊加賀スポーツセンター維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2013 (H25) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市立伊加賀スポーツセンター条例、枚方市立伊加賀スポーツセンター条例施行規則、枚方市立伊加賀スポーツセンター使用料に関する規則				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	伊加賀スポーツセンターの利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	伊加賀スポーツセンターの利用者が安全に利用できるよう環境整備されることが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	伊加賀スポーツセンターの維持管理及びこれによるスポーツ振興を図ることを目的として、伊加賀スポーツセンターの指定管理者による効果的・効率的な管理運営を行うとともに、指定管理者が実施する各種スポーツ教室によるスポーツ機会を提供する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			伊加賀スポーツセンターが適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	指標説明		施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
			単位				単位			
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		0	0	0	0	3	3	3	3
	実績		0	0	0	0	2	1	1	2
達成度			100%				67%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.74
再任用	0.01
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,183	4,193	5,893		
	会計年度任用職員	0	0	22		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,183	4,193	5,915		
歳入	物件費計	38,972	33,787	53,839	58,785	91.6%
	歳出計	43,155	37,980	59,754		
	国庫支出金	0	0	1,910	5,519	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	1,079	0	0	0	
	市債	0	0	13,000	16,300	
	その他	0	0	1,686	2,768	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,079	0	16,596	24,587	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		37,893	33,787	37,243	34,198	

5. 総括的分析

総括的分析	指定管理者による維持管理に加え、市による施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件だった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	指定管理者による効果的・効率的な施設運営が行われているか、モニタリング等で適宜確認するとともに、保全計画に基づいた施設の維持管理を行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 497

事務事業名称	野外活動センター利用促進事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	学校キャンプを利用する小中学校の児童・生徒			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	自然の中での体験学習の機会が不足する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	学校キャンプの利用数が増え、利用した子どもたちが別の機会に施設利用することで、施設の活性化が図られ、より多くの青少年の健全育成が図られた状態。				
事業概要	野外活動センターの利用増を目指し、学校キャンプ（日帰り・宿泊）について、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施する。（平成26年度は試行。平成27年度から本格実施。）				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		利用者の子どもたちが別の機会に利用するなど、施設利用が底上げされ、施設の活性化が図られる。				支援を行った小中学校の児童・生徒が学校キャンプに参加する。				学校ニーズに対応した学校キャンプの支援を行う。							
指標設定	指標説明	施設の市内小中学生等の利用者数(日帰り・宿泊)				支援した小学校数				小・中学校を対象としたバス配車件数							
	単位		人		単位		校		単位		件						
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標 (見込み)		6,510	6,510	6,510	6,510	18	18	18	18	23	23	23	23		
		実績		2,712	3,967	5,248	3,787	16	21	22	20	18	21	20	17		
達成度		58%				111%				74%							

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.21
再任用	1.06
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,957	3,238	6,998		
	会計年度任用職員	3,368	1,701	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,325	4,939	6,998		
歳入	物件費計	4,176	3,746	3,012	3,913	77.0%
	歳出計	12,501	8,685	10,010		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	2,014	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	468	488	428	644	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	2,482	488	428	644	
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,694	3,258	2,584	3,269	

5. 総括的分析

総括的分析	青少年の自立心と生きる力を育む授業として実施されている学校キャンプを支援するとともに、当施設の利用促進を図ることを目的に当センターまでの往復交通手段となるバス利用を支援している。各学校の利用時期が毎年5月、6月、11月に集中しており、バス代(各校1回まで)や、体験プログラムの補助について限られた予算内でできるだけ多くの学校に利用してもらうため、その予算の使い方や学校負担割合などの検討が必要である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	市内公立学校に限定している交通費や体験プログラム支援については、近隣市町村からの利用促進を図るため、野外活動センターのリニューアル検討におけるサウンディング調査も参考に、その支援の見直しを進める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 498

事務事業名称	渚市民体育館維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性	内部事務		区分	一般内部管理事務	
事業期間	2006 (H18) 年度			年度	～	年度まで		
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例、枚方市立市民体育館条例、枚方市立市民体育館条例施行規則、枚方市立市民体育館使用料に関する規則							
関係補助金名称					サンセット			～
関係附属機関名称								
事業対象	メインターゲット	渚市民体育館の利用者						
	サブターゲット							
	ターゲットが抱える課題	渚市民体育館の利用者が安全にできるよう環境整備されることが求められている。						
	ターゲットが抱える課題							
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。							
事業概要	渚市民体育館の維持管理及びこれによるスポーツ振興を図ることを目的に、渚市民体育館の指定管理者による効果的・効率的な管理運営を行うとともに、指定管理者が実施する各種スポーツ教室によるスポーツ機会を提供する。							

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						渚市民体育館が適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	指標説明					施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
	単位		件		単位		件						
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値	目標 (見込み)				R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績				0	0	0	0	5	5	5	5
達成度										100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.74
再任用	0.01
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,183	4,193	5,893		
	会計年度任用職員	0	0	22		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,183	4,193	5,915		
歳入	物件費計	73,546	131,423	42,540	43,455	97.9%
	歳出計	77,729	135,616	48,455		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	1,099	0	0	0	
	市債	0	64,800	0	0	
	その他	1	0	171	202	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,100	64,800	171	202	
一般財源（物件費に充当されるもの）		72,446	66,623	42,369	43,253	

5. 総括的分析

総括的分析	指定管理者による維持管理に加え、市による施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件だった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	指定管理者による効果的・効率的な施設運営が行われているか、モニタリング等で適宜確認するとともに、保全計画に基づいた施設の維持管理を行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 499

事務事業名称	総合スポーツセンター維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2006 (H18) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例、枚方市立総合スポーツセンター条例、枚方市立総合スポーツセンター条例施行規則、枚方市立総合スポーツセンター使用料に関する規則				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	総合スポーツセンターの利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	総合スポーツセンターの利用者が安全に利用できるよう環境整備されることが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	総合スポーツセンターの維持管理及びこれによるスポーツ振興を図ることを目的に、 総合スポーツセンターの指定管理者による効果的・効率的な管理運営を行うとともに、指定管理者が実施する各種スポーツ教室によるスポーツ機会を提供する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			総合スポーツセンターが適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	指標説明		施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
				単位	件			単位	件	
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		0	0	0	0	8	8	8	8
	実績		0	0	0	0	8	3	4	7
達成度			100%				88%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.74
再任用	0.01
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,183	4,349	5,893		
	会計年度任用職員	0	0	22		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,183	4,349	5,915		
歳入	物件費計	93,548	76,320	89,608	104,082	86.1%
	歳出計	97,731	80,669	95,523		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	2,409	0	0	0	
	市債	0	0	15,900	18,700	
	その他	0	5,821	7,436	2,038	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	2,409	5,821	23,336	20,738	
一般財源（物件費に充当されるもの）		91,139	70,499	66,272	83,344	

5. 総括的分析

総括的分析	指定管理者による維持管理に加え、市による施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件だった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	指定管理者による効果的・効率的な施設運営が行われているか、モニタリング等で適宜確認するとともに、保全計画に基づいた施設の維持管理を行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 502

事務事業名称	民間スポーツ施設開放事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1988(S63)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	民間施設等活用推進実施要綱、決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	開放する民間体育施設の利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	日常的にスポーツを楽しめる場が不足している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公共のスポーツ施設と合わせて利用されることにより、より多くの市民にスポーツ活動の場を提供でき、市民の体力向上や健康増進につながった状態。				
事業概要	企業等の協力のもとに、提供可能なスポーツ施設を広く市民に開放することにより、スポーツ活動の場の充実を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		公共のスポーツ施設の利用状況が緩和し、安全かつ快適な利用環境が整う。				立地や設備なども踏まえ、スポーツを好む市民が民間体育施設を利用する。				民間スポーツ施設を市民に開放する。				
指標設定	指標説明	申込件数				開放件数				協力企業数				
		単位	件	単位	件	単位	企業							
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	2,070	2,080	2,090	2,100	5,489	5,516	5,543	5,570	4	4	4	4
		実績	1,111	1,502	1,694	1,818	2,932	3,629	4,276	4,374	4	4	3	3
達成度		87%				79%				75%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.13
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,571	1,016	1,026		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,571	1,016	1,026		
歳入	物件費計	4,430	4,479	4,575	4,575	100.0%
	歳出計	6,001	5,495	5,601		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		4,430	4,479	4,575	4,575	

5. 総括的分析

総括的分析	新規開拓に向けて企業や大学等と協議を行っているが、協力までには至らなかった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	引き続き連携企業を増やすための取り組みを行いつつ、より多くの市民に活用いただけるような手法等について検討していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 503

事務事業名称	野外活動センター維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1970(S45)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市野外活動センター条例、枚方市野外活動センター条例施行規則、枚方市野外活動センター使用料に関する規則				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	野外活動センターの利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	野外活動センターの利用者が安全に利用できるよう整備されることが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	野外活動センターの管理運営委託については、これまで枚方市スポーツ協会と随意契約を締結してきたが、事業の硬直化を改善するため、教室やイベントなどソフト事業への協力やカウンセラーの配置などの委託内容について仕様書の精査を行う。また、センター主催で実施している教室やイベント企画などのソフト事業については、可能な限り公民連携プラットフォームを活用し、民間事業者の発案による事業を試行実施する。さらに、森林環境譲与税を活用し、健全な森林を維持するために複数年でセンター周辺の森林環境の整備が終了するよう間伐などを実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			野外活動センターが適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	指標説明		施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
			単位 件				単位 件			
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		0	0	0	0	18	18	18	18
	実績		0	0	0	0	17	18	20	15
達成度			100%				83%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.23
再任用	1.65
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,477	9,132	10,129		
	会計年度任用職員	2,189	413	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,666	9,545	10,129		
歳入	物件費計	66,505	170,955	68,155	78,437	86.9%
	歳出計	74,171	180,500	78,284		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	278	4,624	5,029	3,465	
	市債	0	65,400	0	0	
	その他	1,526	2,124	1,955	12,408	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,804	72,148	6,984	15,873	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		64,701	98,807	61,171	62,564	

5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数が0件だった。 冬季の休所日を開所にすることにより使用料及び委託料が増加している。 森林環境譲与税を活用した森林整備業務を行い、安全な施設運営を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	保全計画等に基づき、適切に施設の維持管理を行っていく。また、令和5年度から入札により新たな委託業者による運営業務を行っており、引き続き良好な運営を行っていく。また、来年度の森林環境譲与税を活用し、安全な施設運営を務める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 905

事務事業名称	スポーツ振興課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外							
	施策目標		99.施策体系外							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務	
事業期間	不明		年度	～			年度まで
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称				サンセット		～	
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	スポーツ振興課職員					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	所管事務を効率的かつ効果的に執行すること。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各業務の点検・評価を行うことで、所管事務に関する手法改善を随時行い、業務を円滑に遂行できる。						
事業概要	課の運営事務						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.80
再任用	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,143	5,330	6,568		
	会計年度任用職員	37	232	220		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,180	5,562	6,788		
	物件費計	1,212	4,063	2,244	4,868	46.1%
歳出計		4,392	9,625	9,032		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	2,832	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	2,832	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,212	1,231	2,244	4,868	

5. 総括的分析

総括的分析	【スポーツ振興課運営事務】市議会関係、行政評価関係、車両関係 【スポーツ振興課内庶務事務】予算・決算関係事務、物品購入及び契約関係事務、文書関係事務、職員の服 務・給与・休暇に関する事務 【その他】コロナ対応、AED関係等
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	課所管事務の適正な執行に向けて、各課庶務関係事務を正確かつ適正に実行する。